

■竹内栖鳳 日本画家。“東の大観・西の栖風”と並称，“最後の名人”として京都画壇に君臨，多くの俊材を育てた。

たけうちせいほう

禁門の変・・・1864＝ 京都市中京区の料亭の子に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 4歳：

明治6年政変 1873＝ 9歳：

大久保暗殺・1878＝14歳：土田英林の手ほどきを受けるが，

明治14年政変1881＝17歳： 円山四条派の幸野謀嶺の門に入って画才を認められ，つねに師と行動を共にする。

新体詩抄・・・1882＝18歳：

狩野派や大和絵，漢画などを広く研究，その上に円山四条派の輪郭をとらずに描いてゆく“つけたて”による表現を試み，新古美術会，日本青年絵画共進会，日本絵画協会などに出品して名声をあげ，

帝国憲法発布1889＝25歳： 京都府画学校出仕，

足尾鉋毒始・1891＝27歳：

日清戦争始・1894＝30歳：

Bushidou・・・1899＝35歳：*京都市立美術工芸学校の教諭に推された。

ピアノ国産化・1900＝36歳： ヨーロッパへ遊学，各地を巡って，

田中正造直訴1901＝37歳： 帰国，以後雅号を栖鳳と改める。

円山四条派の画技の上にコロー，ターナーらに啓発されたセピア調の写生的作風による「獅子」やオランダの風景を描いた「古都の秋」を発表して，京都の新世代を代表する花形となった。洋風の空気や光の表現をとり入れ，前述の作品のほか「河口」「鯖」などを描いている。

日露戦争終・1905＝41歳：

韓国反日暴動1907＝43歳： 文展開設とともに審査員となり，「雨霽」，

伊藤博文暗殺1909＝45歳：*「あれ夕立に」などの名作を発表して大家の位置を確立した。京都絵画専門学校教授，

明治天皇没・1912＝48歳：

大正政変・・・1913＝49歳： 帝室技芸員，

本格政党内閣1918＝54歳：

ベルサイユ条約 1919＝55歳： 帝国美術院会員にあげられた。

原敬首相暗殺1921＝57歳：

護憲三派圧勝1924＝60歳：*「斑猫」(重要文化財)以降，簡略化された形態の中に動植物の機微をつかんだ筆致はますます冴え，

金融恐慌・・・1927＝63歳：

また水郷の風景を愛し，

海軍軍縮条約1930＝66歳： 中国蘇州に取材した「城外風薫」，潮来に取材した「潮来小暑」，

満州事変・・・1931＝67歳：

帝人疑獄事件1934＝70歳： 「蛙と蜻蛉」などの傑作がある。

二二六事件・1936＝72歳：

日中戦争始・1937＝73歳： 第1回の文化勲章受章者となり，

日米開戦・・・1941＝77歳：

・・・・・・1942＝78歳：*陸軍省から委嘱された「宮城を拝して」が絶筆に，没した。

京都画壇の指導者として，青甲社を主宰した西山翠嶂，土田麦僊，小野竹喬，上村松園，徳岡神泉，山口華楊ら数多くの俊秀を育てた功績も大きい。鍋木清方からは“最後の名人”と評された。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，